



# 平成21年3月期 第2四半期決算説明会資料

平成20年12月2日（大阪）

平成20年12月3日（東京）

**石原薬品株式会社**

（大証二部 4462）

## ➤ 第2四半期決算の概要

平成21年3月期 第2四半期実績  
営業品目別売上高比較  
営業の状況  
平成21年3月期の業績予想  
通期の見通し  
営業品目別売上高推移  
中期経営計画について  
経営の基本方針  
当社の特長  
目標とする経営指標等  
株主還元・内部留保の考え方

## ➤ 新技術、新製品開発の状況

技術動向、新製品開発の状況  
電子機器製品  
めっき製品紹介

## 《参考資料》

総資産・純資産  
1株当たり純資産・自己資本比率の推移  
展示会出展予定のご案内

## ➤ 第2四半期決算の詳細

損益計算書の概要  
売上高の半期推移  
製品・商品別売上高比率・売上総利益率・輸出比率推移  
貸借対照表の概要  
キャッシュ・フロー計算書の概要  
キャッシュ・フローと設備投資額の推移  
研究開発人員と研究開発費



## 第2四半期決算の概要

代表取締役社長 竹森 莞爾

## 平成21年3月期 第2四半期実績

(単位：億円)

	平成19年3月期 第2四半期	平成20年3月期 第2四半期(a)	平成21年3月期 第2四半期(b)	差異 (a)-(b)	期初計画 第2四半期	期初計画 との差異
売上高	74.1	81.4	<b>79.2</b>	2.1	82.0	2.8
売上総利益	24.0	22.6	<b>20.6</b>	2.1	23.5	2.9
営業利益	9.7	7.7	<b>5.3</b>	2.4	7.3	2.0
経常利益	9.9	7.9	<b>5.8</b>	2.1	7.3	1.5
四半期純利益	6.0	4.9	<b>2.7</b>	2.2	4.5	1.8
1株当り四半期純利益(円)	81.19	66.82	<b>36.43</b>		60.65	

### 差異内容

#### ◆ 売上高 ( 2.1億円)

金属表面処理剤及び機器等	+ 0.6
電子材料	3.3
工業薬品	+ 0.5

#### ◆ 売上総利益 ( 2.1億円)

製品	2.3
商品	+ 0.2

- ・ 為替レート円高影響
- ・ 原材料価格高騰
- ・ 販売品目構成及び値引等
- ・ 売上増(商品売上増分)

#### ◆ 四半期純利益 ( 2.2億円)

売上総利益	2.1
販管費	0.4
営業外損益	+ 0.3
有価証券評価損	1.6
法人税等	+ 1.5

## 営業品目別売上高比較

(単位：億円)

	平成20年3月期 第2四半期		平成21年3月期 第2四半期		差異	修正予想 (修正値)	期初計画 (年間)
<b>製品</b> 金属表面処理剤及び機器等	26.4	32.5%	<b>26.0</b>	<b>32.9%</b>	0.4	52.8	57.9
電子材料	2.2	2.7%	<b>2.0</b>	<b>2.5%</b>	0.2	3.9	5.0
電子関連分野 計	28.6	35.2%	<b>28.0</b>	<b>35.4%</b>	0.6	56.7	62.9
自動車用化学製品等	6.0	7.3%	<b>5.5</b>	<b>6.9%</b>	0.5	10.9	12.1
工業薬品	0.7	0.9%	<b>0.8</b>	<b>1.0%</b>	0.1	1.6	1.4
製品合計	35.3	43.4%	<b>34.3</b>	<b>43.4%</b>	0.9	69.2	76.4
<b>商品</b> 金属表面処理剤及び機器等	3.4	4.2%	<b>4.5</b>	<b>5.6%</b>	1.1	9.0	7.5
電子材料	17.0	20.9%	<b>13.8</b>	<b>17.4%</b>	3.2	28.7	33.0
電子関連分野 計	20.4	25.1%	<b>18.3</b>	<b>23.0%</b>	2.1	37.7	40.5
自動車用化学製品等	2.1	2.6%	<b>2.7</b>	<b>3.4%</b>	0.6	5.3	4.3
工業薬品	23.5	28.9%	<b>23.9</b>	<b>30.1%</b>	0.4	46.6	45.1
商品合計	46.1	56.6%	<b>44.9</b>	<b>56.6%</b>	1.2	89.6	89.9
合 計	81.4	100.0%	<b>79.2</b>	<b>100.0%</b>	2.1	158.8	166.4

(平成20年10月29日発表)

## 電子関連分野

売上高 46.3億円 (前年同期 49.0億円 5.5%減) 売上構成比 58.5%

- ▶ 携帯電話やパソコンなど最終製品需要は低迷。
- ▶ 北京オリンピックに伴う需要の盛り上がりも低調。
- ▶ クリスマス商戦に向けた夏場の部品受注も前期を下回る水準。

## 金属表面処理剤及び機器等

売上高 30.5億円 (前年同期 29.8億円 2.2%増)

- ▶ 液晶関係、バンプ関係のめっき液：伸長。
- ▶ 半導体関係のめっき液：半導体の需給関係や、BGAタイプの増加等によりリードフレームのめっき液伸び鈍化。

## 電子材料

売上高 15.8億円 (前年同期 19.1億円 17.6%減)

- ▶ ニッケル超微粉：需要先のセラミックコンデンサーの生産動向により低調。
- ▶ 機能材料加工品：半導体製造装置向けの部品需要低調。

## 営業の状況

### 自動車用品分野

売上高 8.1億円（前年同期 8.0億円 1.2%増）売上構成比 10.3%

- 自動車本体の品質向上等により自動車ケミカル品は使用量が引き続き減少。
- カーアフターマーケットでの部品、用品販売も低調に推移。
- カーメーカー向け自動車ケミカル品等は堅調。

### 工業薬品分野

売上高 24.7億円（前年同期 24.2億円 2.0%増）売上構成比 31.2%

- 建設需要の低下に伴い鉄鋼向け建材関連商品は減少。
- 鋼板向け表面処理剤、化学、環境向け薬剤等は堅調。

# 平成21年3月期の業績予想 (平成20年4月1日～平成21年3月31日)



(単位：億円)

	平成20年3月期 (参考)			平成21年3月期			
	上期	下期	年間	上期	下期	年間	
	実績			実績	予想	予想	伸び率
売上高	81.4	78.4	159.8	79.2	79.6	158.8	0.6%
営業利益	7.7	8.1	15.8	5.3	5.1	10.4	34.2%
経常利益	7.9	8.1	16.0	5.8	5.1	10.9	31.9%
当期純利益	4.9	4.0	8.9	2.7	2.8	5.5	38.2%
1株当たり当期純利益(円)			121.10			74.13	38.8%

(平成20年10月29日発表)

業績予想数値につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

## 電子関連分野

### ➤ 最終製品需要後退、電子部品需要減

#### 金属表面処理剤及び機器等

- めっき液：
  - ・電子部品・デバイスもともに生産調整予想、上半期まで順調に推移してきた液晶関係も、生産調整に入る模様。
  - ・半導体分野は小型化によるフリップチップ化<sup>1</sup>でのパンプの伸びに期待。
  - ・現行ユーザー管理を徹底。
- 機器等：
  - プリント基板、フラットパネル関係、設備投資抑制により悪化懸念。
  - 光学フィルム、有機エレクトロルミネッセンスなど明るい材料あり。

#### 電子材料

- セラミックコンデンサーの需要の低迷によるニッケル粉の需要が伸びない。
- 半導体製造装置向け、液晶製造装置向け機能材料加工品の需要悪化懸念。

<sup>1</sup>フリップチップ化とは、電子機器等の小型化・薄型化・高密度化の必要性に伴い、注目されているチップ実装方式で、チップの表面(回路面)に「パンプ」と呼ばれる突起電極(接続用金属)を形成し、回路面を下に向けて基板に直接電気接続する実装方法のことです。

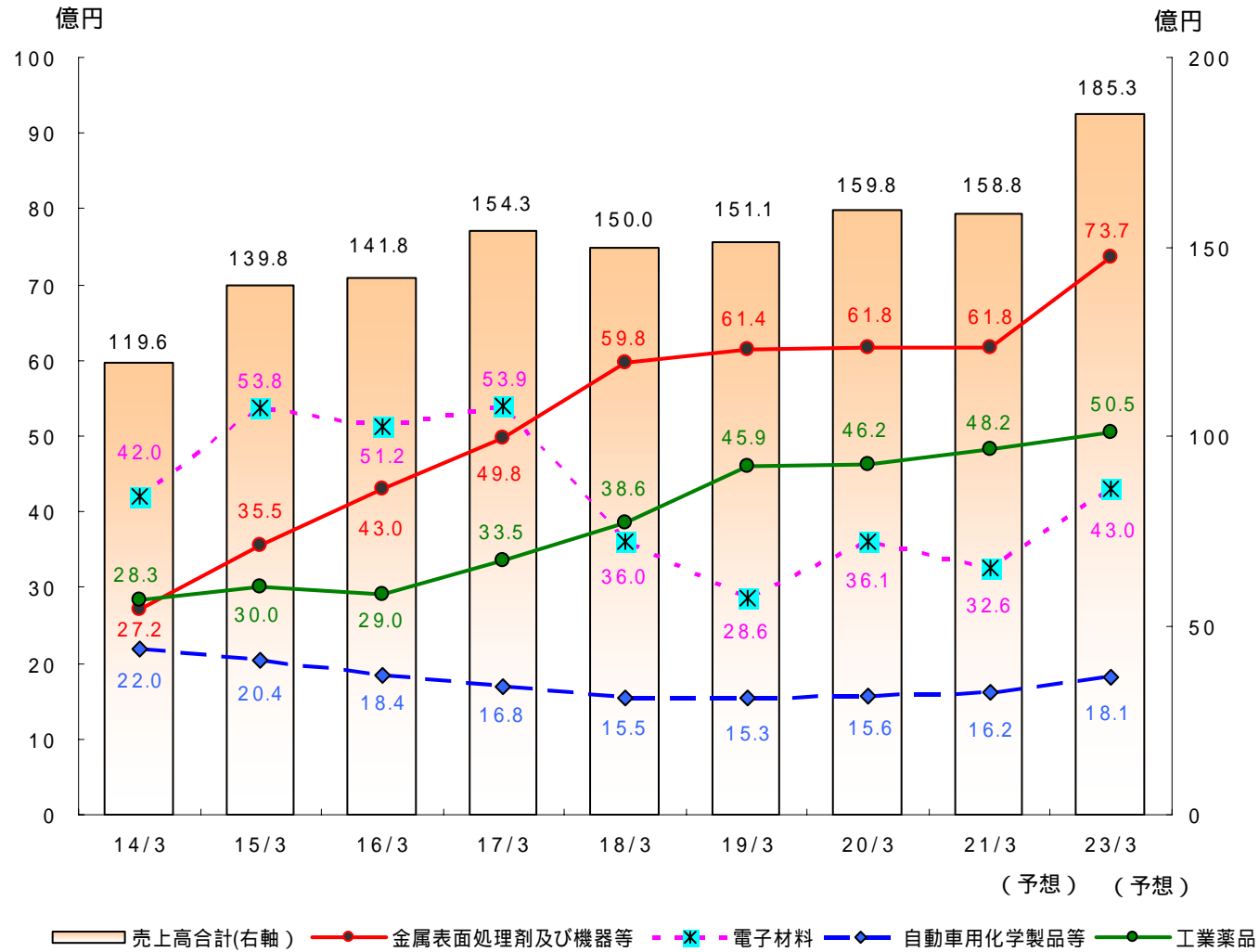
### 自動車用品分野

- 自動車本体の品質向上等により自動車ケミカル使用量減少、アフターマーケットでの部品・用品販売低調。
- コンパウンドの拡販
- カーディーラーにおけるエアコンのフィルタ交換時、エアコン洗浄を同時施工することを促進することによりエアコン洗浄剤の拡大を図る。

### 工業薬品分野

- 鋼板向け薬剤、環境公共事業向け薬剤等は好調。
- 原材料価格の値上げによる売上増及び、売上総利益の増加。

# 営業品目別売上高推移



業績予想数値につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

## 中期経営計画について（平成20年度～平成22年度予想）

### 基本的な取り組み方針（平成20年6月発表の中期経営計画）

- 新製品開発、新技術開発のため研究開発投資を積極的に行う。
- 基礎となる3つの分野、4つの事業をバランスよく展開し、各々の事業の収益力を高め、その総体として会社の業績の伸長をはかる。
- 自社製品比率を高め、売上総利益の拡大をはかり収益力の高い会社を目指す。
- 電子材料関連分野を重点開発分野と位置づけ第5の事業を育成する。

3つの分野	4つの事業
電子関連分野	金属表面処理剤及び機器等
	電子材料
	（新分野）
自動車用品分野	自動車用化学製品等
工業薬品分野	工業薬品

## 中期経営計画について（平成20年度～平成22年度予想）

### 目 標

	平成19年3月期 実績（構成比）	平成20年3月期 実績（構成比）	平成21年3月期 修正予想（構成比）	平成23年3月期 予想（構成比）
製品売上高	74.4億円 (49.2%)	72.3億円 (45.2%)	69.2億円 (43.6%)	86.0億円 (46.4%)
商品売上高	76.7億円 (50.8%)	87.5億円 (54.8%)	89.6億円 (56.4%)	99.3億円 (53.6%)
計	151.1億円	159.8億円	158.8億円	185.3億円
経常利益	18.8億円	16.0億円	10.9億円	20.7億円
当期純利益	11.5億円	8.9億円	5.5億円	12.7億円
売上高経常利益率	12.5%	10.1%	6.9%	11.3%

（平成20年10月29日発表）

昨今の経済環境の激変にともない、現行の中期計画は平成21年3月期決算発表後の中期経営計画修正発表に向け、見直しを検討しております。

## 経営の基本方針

---

### 経営の基本方針

- 当社は**自己開発・商品開発・市場開発**の「3つの開発」を企業理念とし、**ニッチ市場**といわれる事業分野で**高い市場占有率**を維持し、基幹となる3つの分野で事業を**バランスよく展開**し、各々の収益力を高め、**総体として会社の業績の伸長**をはかる。
- このような事業活動を通じて常に新しいニーズの創造・発掘に取り組み、会社の発展を通じて、**株主・取引先・従業員**など関係各位の**信頼と期待**に応え、**社会に貢献**していく。

企業価値及び株主共同の利益の確保・向上に努める。

全てのステークホルダーの満足度向上

# 当社の特長



## 事業領域

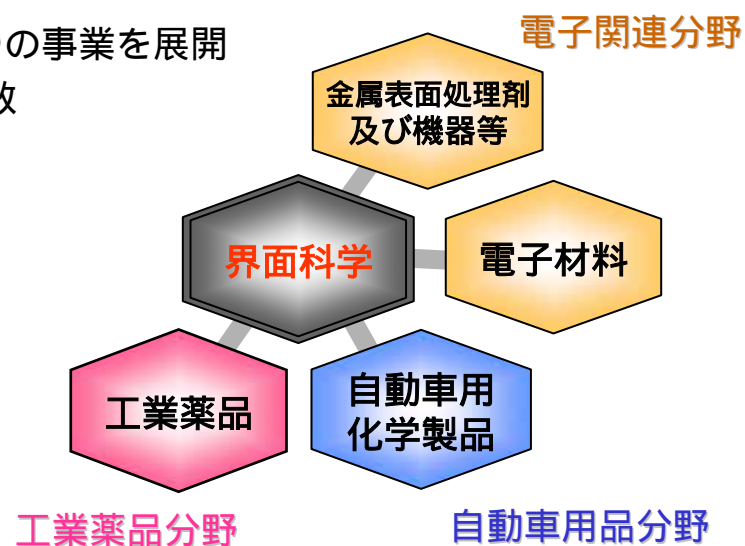
- 界面科学を中核技術に3つの分野で4つの事業を展開  
「全天候型経営」による事業リスクの分散

## ニッチ市場で高い占有率

- はんだめっき液で国内トップシェア
- 鉛フリー製品（環境配慮型製品）

## 研究開発型企业

- 強固な研究開発部門
  - ・ 全社員の1/3を研究人員に充てる
- 各大学・試験所との連携による研究開発
- 技術フォローまで含めた高付加価値サービスの提供



安定した事業基盤、財務基盤に基づくパートナー企業との信頼関係の上で新製品開発・新市場開発を展開しています。

## 目標とする経営指標等

### 目標とする経営指標

- ▶ 自社製品の売上拡大により、製品売上高の構成比50%以上を目指し、売上総利益の拡大をはかる。
- ▶ 売上高経常利益率10%以上を目指す。

この2つの目標の達成を視野に入れながら当期純利益を拡大し、ROE及びEPSの更なる向上を図っていくことが、企業価値向上につながるものと考えます。

	16/3	17/3	18/3	19/3	20/3	21/3 (今期予想)
製品割合 (%)	41.8	42.3	48.8	49.3	45.2	43.6
売上高経常利益率 (%)	8.3	10.2	12.3	12.5	10.1	6.9
ROE (%)	6.9	9.1	9.6	9.2	6.9	4.2
EPS (円/株)	88.77	126.03	145.09	155.00	121.10	74.13

当社を取り巻く外部環境は日々刻々と変化し、現在のような金融環境の激変期にあっては、ROEの向上とともに企業の持続性も重要な経営課題として認識しております。このような状況のもとでは、強固な財務状況を維持し、株主、取引先等、全てのステークホルダーに安心していただける基盤の整備も重要であると考えております。

# 株主還元・内部留保の考え方

## 株主還元

安定的かつ継続的な配当を基本としつつ、業績に応じ増配を検討するなど弾力的な還元策を図っていく方針であります。自己株式の取得等も資本政策として合わせて検討し、株主の皆さまに満足していただける株主還元を検討してまいります。

## 配当の推移

	16/3	17/3	18/3	19/3	20/3	21/3 (今期予想)
配当金	22.50円	34.00円	36.00円	36.00円	36.00円	36.00円
配当性向	25.35%	26.98%	24.81%	23.23%	29.73%	48.56%

企業の成長と永続の両面より、財務基盤の充実は重要であり、配当性向の単なる『恒常的引き上げ』ではなく、企業業績に応じた適正な株主配分は重要であると認識しております。

## 内部留保

健全な経営基盤を維持するため内部留保の充実を図るとともに、その活用については、研究開発や新事業、新技術開発など将来の企業価値を高めるための投資に優先して充当してまいります。なお、株主還元と内部留保のバランスについては、当社のおかれた環境を考慮して慎重に検討を継続していきます。



## 第2四半期決算の詳細

常務取締役 浅野 真司

# 損益計算書の概要

(単位：百万円)

	平成20年3月期		前第2四半期		当第2四半期		増減金額
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	
売上高	15,983	100%	8,140	100%	7,924	100%	216
売上原価	11,434	71.5%	5,873	72.1%	5,862	74.0%	11
売上総利益	4,548	28.5%	2,267	27.9%	2,062	26.0%	205
販売費及び一般管理費	2,963	18.6%	1,493	18.4%	1,530	19.3%	37
営業利益	1,585	9.9%	773	9.5%	531	6.7%	242
営業外収益	111	0.7%	50	0.6%	66	0.8%	16
営業外費用	90	0.5%	26	0.3%	14	0.2%	12
経常利益	1,606	10.1%	797	9.8%	584	7.3%	213
特別利益	3	0.0%	3	0.0%	1	0.0%	2
特別損失	170	1.1%	0	0.0%	160	2.0%	160
税引前 四半期純利益	1,439	9.0%	800	9.8%	425	5.3%	375
法人税等	540	3.4%	304	3.7%	154	1.9%	150
四半期純利益	898	5.6%	495	6.1%	270	3.4%	225

## ➤ 売上高・・・ 216百万円

製品売上・・・ 92百万円

商品売上・・・ 124百万円

## ➤ 売上総利益・・・ 205百万円

売上総利益率

27.9%      28.5%      26.0%

(前第2四半期) (H20.3期) (当第2四半期)

## 売上構成の変化

製商品割合

製品

商品

(当第2四半期) 43.4% : 56.6%

(H20.3期) 45.2% : 54.8%

(前第2四半期) 43.4% : 56.6%

## 売上総利益率

製品

商品

(当第2四半期) 49.9% : 7.7%

(H20.3期) 54.1% : 7.2%

(前第2四半期) 55.0% : 7.1%

## ➤ 販売費及び一般管理費・・・ +37百万円

人件費・・・ +20百万円

経費・・・ +16百万円

旅費・・・ 9百万円

減価償却費・・・ 4百万円

その他・・・ 3百万円

## ➤ 特別損失・・・ +160百万円

取引先の株式保有に係わる株式の評価損

## 売上高の半期推移



(単位：億円)

平成20年3月期(実績)	上期	下期	年間合計
金属表面処理剤及び機器等	29.8	32.0	61.8
電子材料	19.2	17.0	36.2
自動車用化学製品等	8.1	7.5	15.6
工業薬品	24.2	21.9	46.2
合計	81.4	78.4	159.8

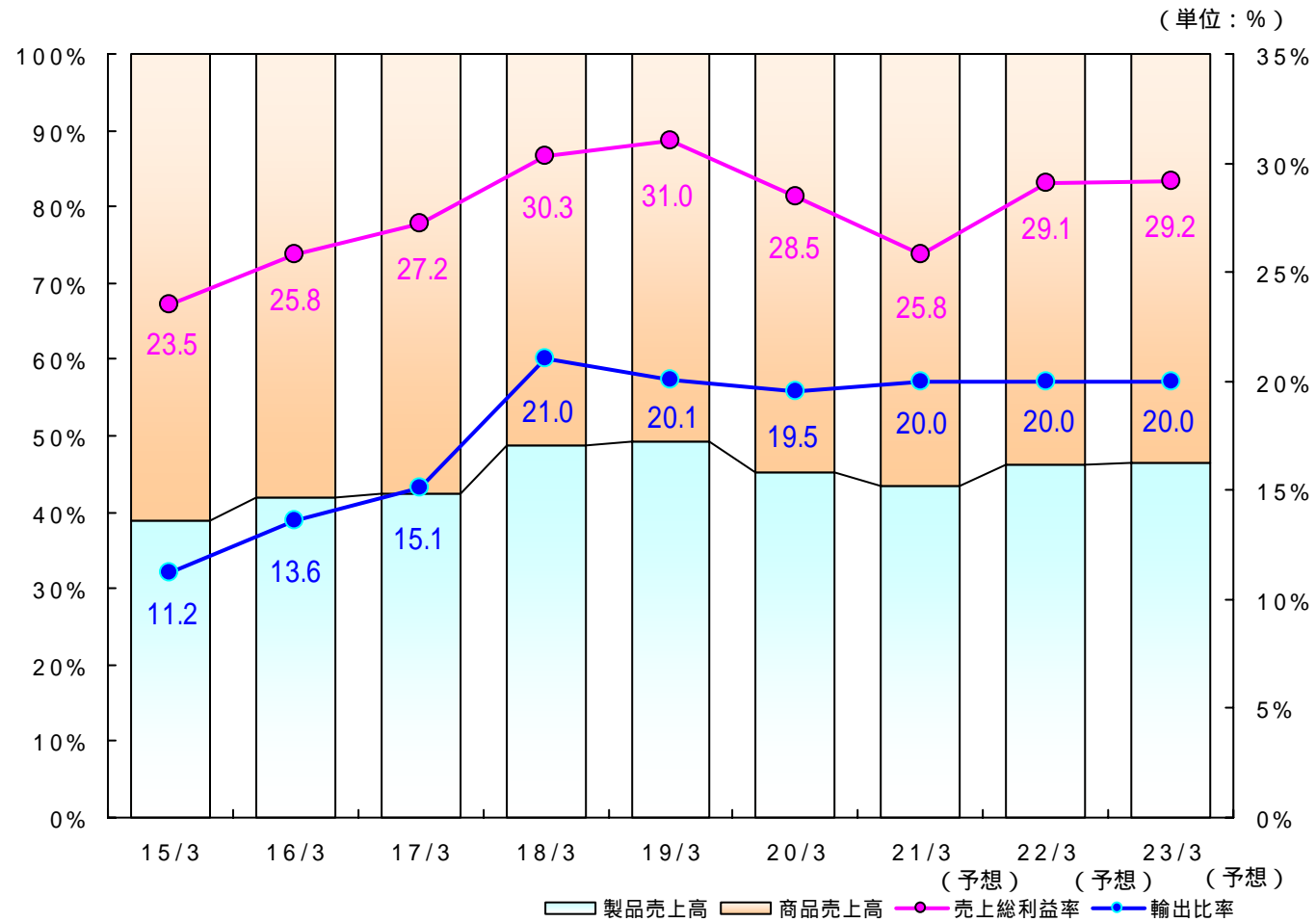
  

平成21年3月期(予想)	上期 (実績)	下期 (予想)	年間合計
金属表面処理剤及び機器等	30.5	31.3	61.8
電子材料	15.8	16.8	32.6
自動車用化学製品等	8.2	8.0	16.2
工業薬品	24.7	23.5	48.2
合計	79.2	79.6	158.8

(平成20年10月29日発表)

業績予想数値につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

# 製品・商品別売上高比率・売上総利益率・輸出比率推移



業績予想数値につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

## 貸借対照表の概要

(単位：百万円)

	平成20年3月期	当第2四半期	増減金額
(資産の部)			
流動資産	9,225	9,398	173
現預金	2,637	2,898	261
売上債権	4,460	4,560	100
有価証券	810	661	149
棚卸資産	1,176	1,165	11
その他	139	113	26
固定資産	8,255	7,910	345
有形固定資産	2,774	2,746	28
無形固定資産	14	17	3
投資その他の資産	5,466	5,146	320
資産合計	17,480	17,309	171
(負債の部)			
流動負債	4,153	3,800	353
仕入債務	3,526	3,276	250
1年以内返済予定 長期借入金	57	32	25
その他	570	491	79
固定負債	311	331	20
長期借入金	6	6	6
その他	305	331	26
負債合計	4,465	4,132	333
(純資産の部)			
純資産合計	13,015	13,176	161
負債・純資産合計	17,480	17,309	171
投資有価証券	4,277	3,953	324

### 主な資産・負債の増減内容

- **現預金**・・・ 2,898百万円 (+261百万円)  
月次決済資金20億円程度必要。月商比で2.1ヶ月分。
- **有価証券** 661百万円 (-149百万円)  
**投資有価証券** 3,953百万円 (-324百万円)  
**合計**・・・ 4,614百万円 (-473百万円)  
取引先の株式保有及び設備投資実施までの債券の運用。
  - ・株式 +121百万円
  - ・債券 +153百万円
  - 同債券の償還 630百万円
  - ・時価評価差額 119百万円
- **棚卸資産**・・・ 1,165百万円 (-11百万円)  
ニッケル粉 125百万円  
めっき関係製品原材料 +100百万円
- **有形固定資産**・・・ 2,746百万円 (-28百万円)  
設備投資：+97百万円  
工場機械装置維持更新他 +30百万円、  
研究開発機器 +63百万円、その他 +4百万円  
減価償却：125百万円
- **仕入債務**・・・ 3,276百万円 (-250百万円)  
ニッケル粉仕入減等による買掛金他

## キャッシュ・フロー計算書の概要

現金及び現金同等物の増加 … 267百万円 (四半期末残高 2,895百万円)

➤ **営業活動によるキャッシュ・フロー … 116百万円**

利益 425百万円、減価償却費 127百万円、売上債権増加 99百万円  
仕入債務減少 250百万円、法人税等支払 224百万円等

➤ **投資活動によるキャッシュ・フロー … 301百万円**

投資有価証券取得による支出 278百万円、売却・償還による収入 634百万円等

➤ **財務活動によるキャッシュ・フロー … 164百万円**

長期借入金の返済による支出 30百万円、配当金支払 133百万円等

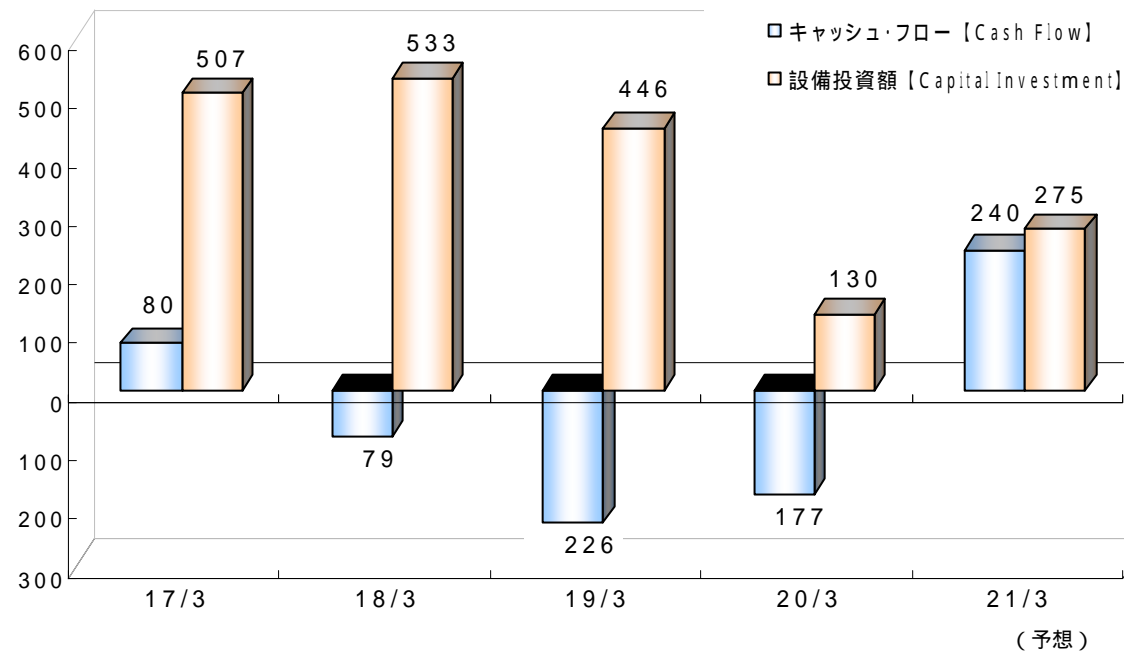
(単位：百万円)

	前第2四半期	当第2四半期
営業活動によるキャッシュ・フロー	435	116
投資活動によるキャッシュ・フロー	323	301
財務活動によるキャッシュ・フロー	137	164
現金及び現金同等物の増減額	31	267
現金及び現金同等物の期首残高	2,806	2,628
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,775	2,895

## キャッシュ・フローと設備投資額の推移

(単位:百万円)

	17/3	18/3	19/3	20/3	21/3 (予想)
キャッシュ・フロー【Cash Flow】	80	79	226	177	240
設備投資額【Capital Investment】	507	533	446	130	275
減価償却費【Depreciation Expenses】	196	213	239	252	280



業績予想数値につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

## 研究開発人員と研究開発費

	17/3	18/3	19/3	20/3	21/3 (今期予想)	《参考》 20/9
従 業 員	161	180	182	178	186	189
研究開発人員	43	53	55	58	62	62
割 合	概ね1/4が研究開発要員					1/3へ

(単位：百万円)

研 究 開 発 費	559	639	680	724	850	425
研究開発用設備取得 (リース資産も含む)	50	54	104	111	130	63
製品売上高 研究開発比率	8.6%	8.7%	9.1%	10.0%	12.3%	12.4%

研究開発型事業の多い当社では、守秘義務契約により進められているプロジェクトが多く、それら詳細情報の開示には制限が課せられております。



# 新技術・新製品開発の状況

代表取締役専務 時澤 元一

### 技術動向

- はんだめっきの技術動向

### 新製品開発の状況

- ナノ金属を用いて新しい電子回路の形成材料をつくる研究。  
実用化を目指した応用研究段階にある。
- 銅めっきの研究。  
回路形成用銅めっき等の研究は順調。

# 電子機器製品

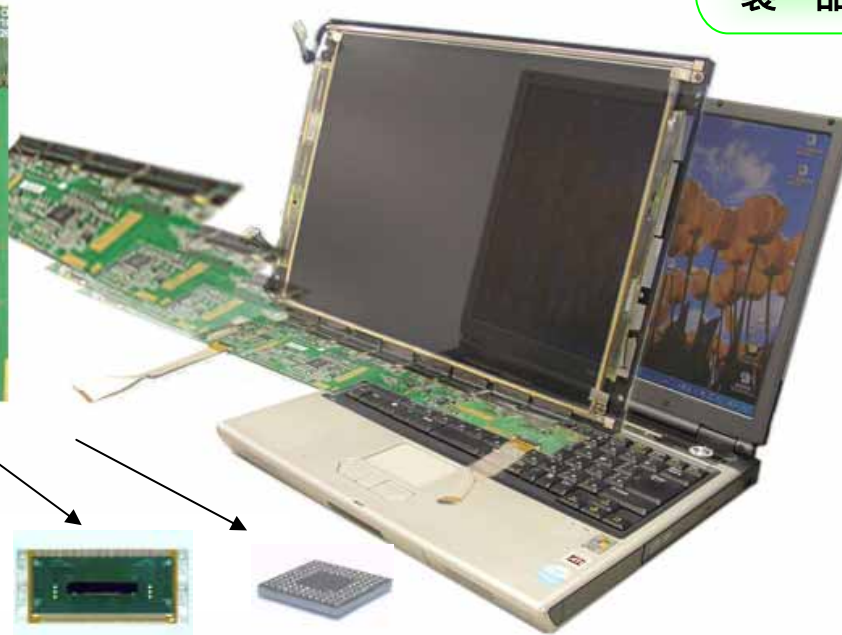
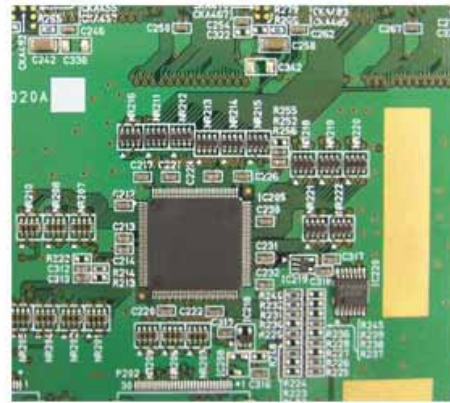


# めっき製品紹介



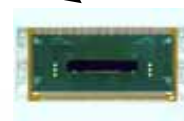
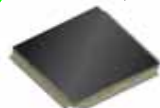
基板

製品



部品

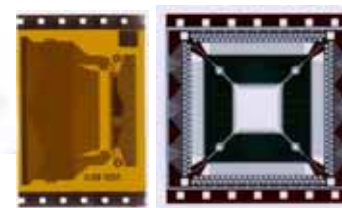
めっき



IC半導体部品



チップ部品

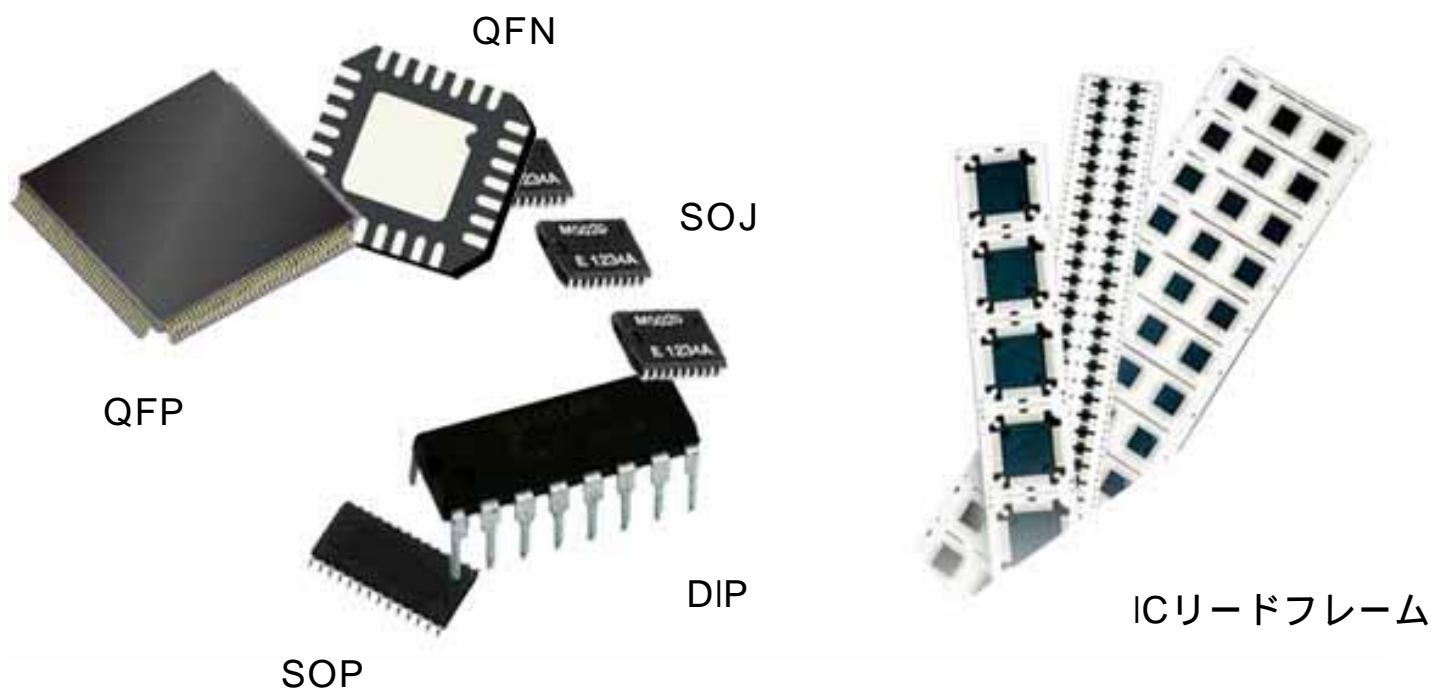


TAB/COF部品

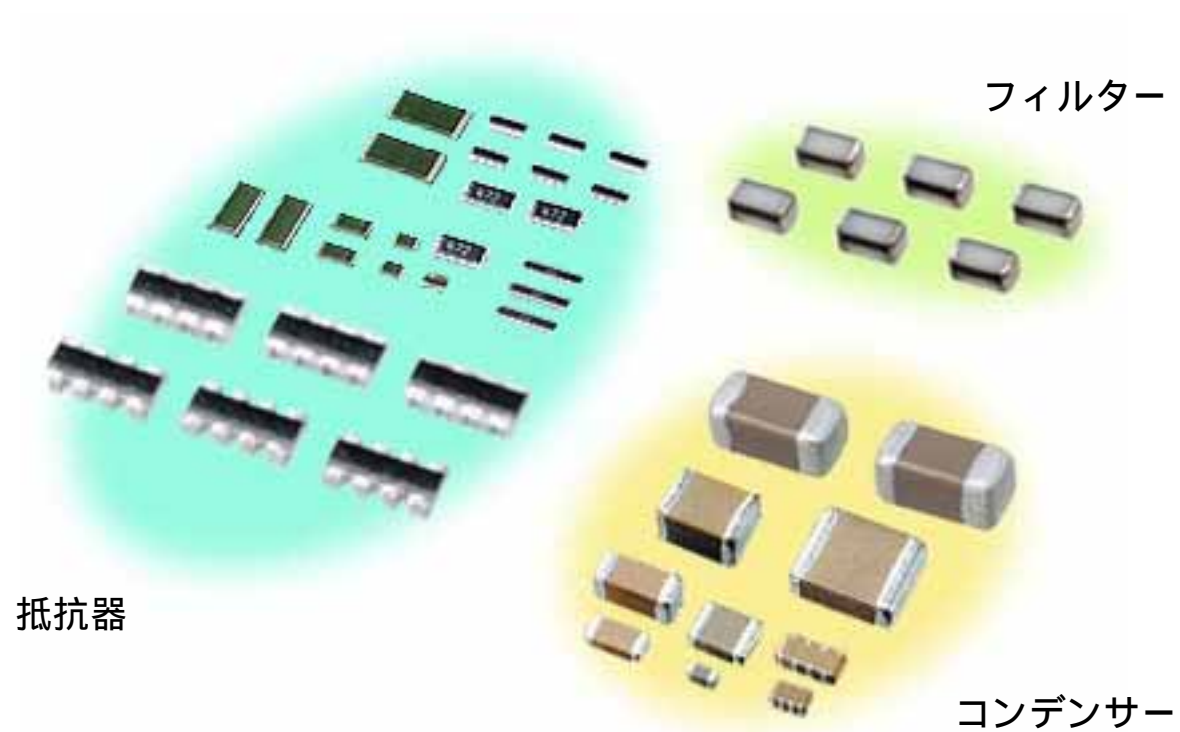


パンプ部品

# IC 半導体部品



# チップ部品

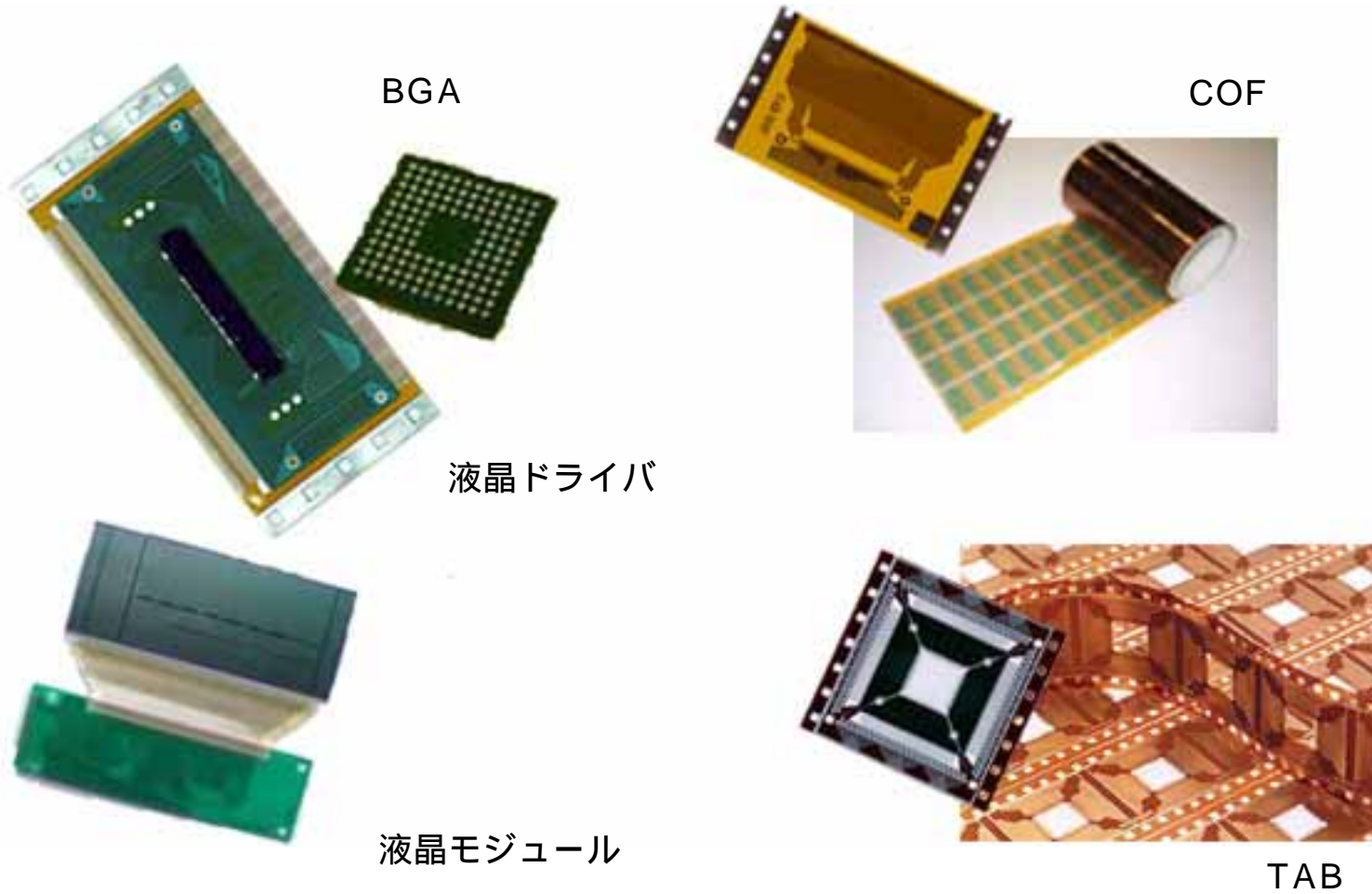


抵抗器

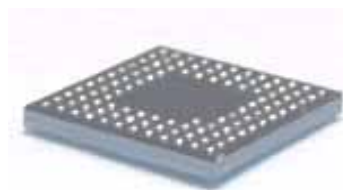
フィルター

コンデンサー

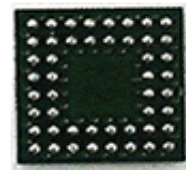
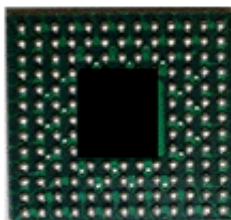
# TAB / COF 部品



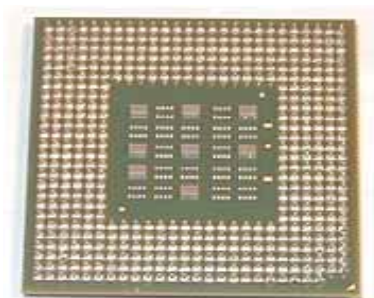
# バンプ使用部品



C S P



B G A



F C

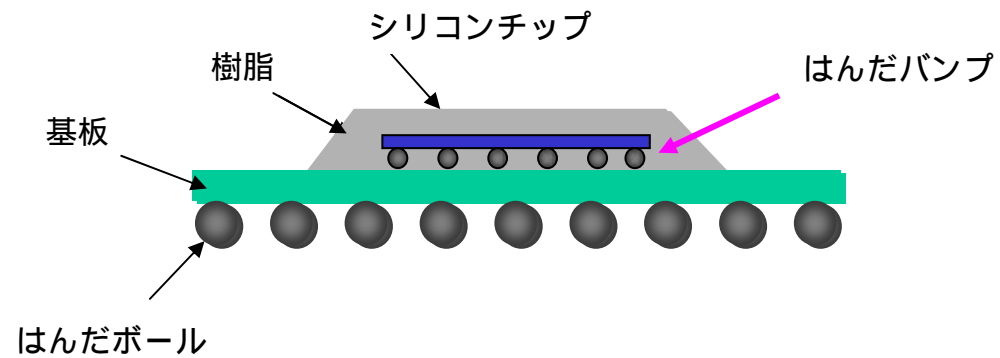


T C P

# はんだバンプを使用したBGAパッケージの構造

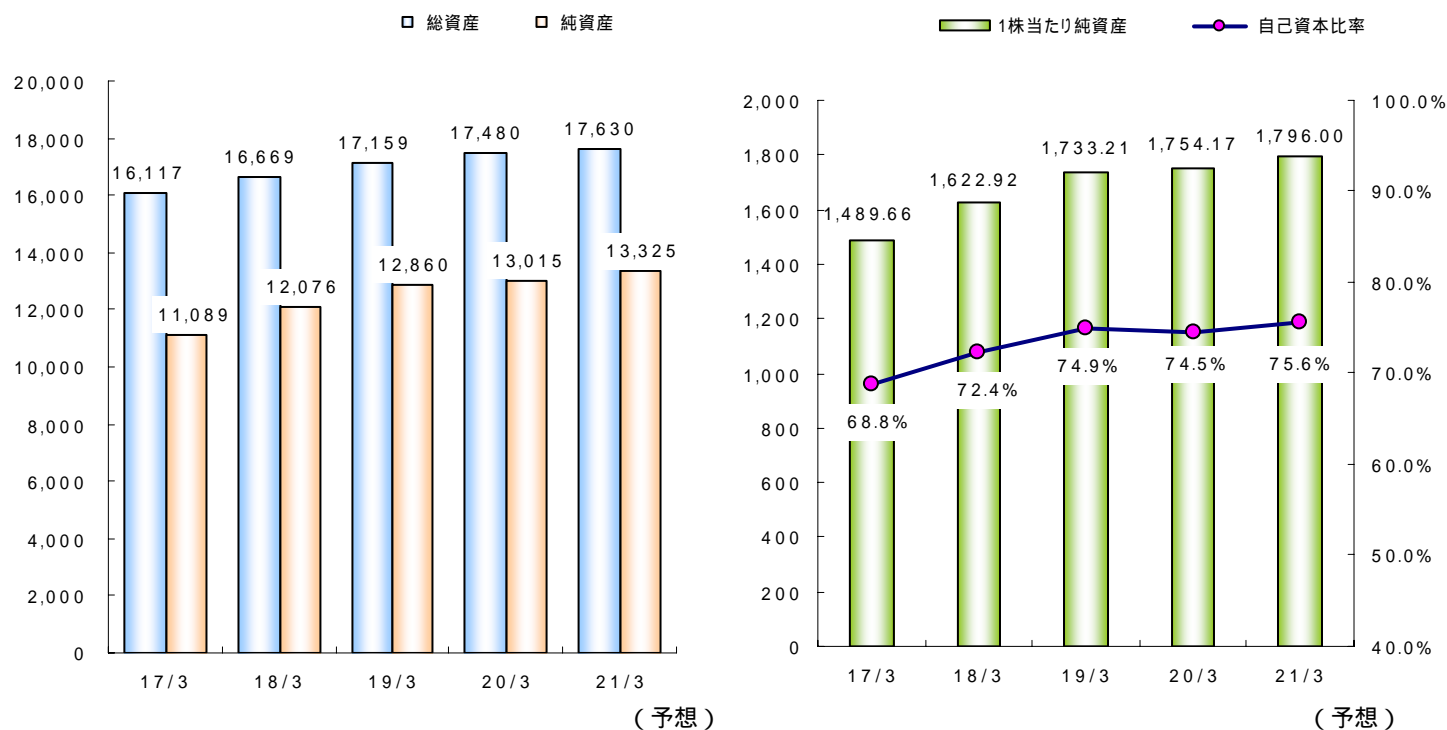


ウェハー



## 総資産・純資産・1株当たり純資産・自己資本比率の推移

		17/3	18/3	19/3	20/3	21/3 (予想)
総資産	【Total Assets】 (百万円)	16,117	16,669	17,159	17,480	17,630
純資産	【Shareholders Equity】 (百万円)	11,089	12,076	12,860	13,015	13,325
1株当たり純資産	【BPS】 (円)	1,489.66	1,622.92	1,733.21	1,754.17	1,796.00
自己資本比率	【Equity Ratio】 (%)	68.8%	72.4%	74.9%	74.5%	75.6%



業績予想数値につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

## 展示会出展予定のご案内

---



- エレクトロニクス製造・実装に関するアジア最大の技術展

### インターネプコン・ジャパン 2009

- ・ 日時 2009年1月28日（水）～ 30日（金）
- ・ 場所 東京ビックサイト

- 上海で開催される半導体イベントに出展

### SEMICON China 2009

- ・ 日時 2009年3月17日（火）～ 19日（木）
- ・ 場所 上海新国際博覧センター（SNIEC）

出展を予定しております。

- この資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略等に関わる情報は、本資料の作成時点において当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で為した判断に基づくものです。しかしながら現実には、通常予測し得ないような特別事情の発生または通常予測し得ないような結果の発生等により、本資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおります。
- 当社といたしましては、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めてまいりますが、本資料記載の業績見通しのみ全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願い致します。
- なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複製、または転送等をおこなわれぬようお願い致します。

ありがとうございました

平成20年12月

石原薬品株式会社

(大証二部 4462)

URL: <http://www.unicon.co.jp>